

令和2年度 シラバス

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	履修学年	第1学年
単位数	2単位	使用教材	教科書：「家庭基礎 自立・共生・創造」（東京書籍） 副教材：「家庭基礎学習ノート」（東京書籍）		
科目目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身につける。				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活と社会の課題の結びつきに関心を持って授業に臨んでください。 調理実習や被服実習の実施において、気がかりなことがあればあらかじめ申し出てください。 				
学期	時期	単元名		学習内容	
1	中間 考査 まで	家庭基礎の学び方 第1章 自分らしい人生をつくる 1 生涯発達の視点 2 青年期の課題 3 目標を持って生きる 4 人生をつくる 5 家族・家庭を見つめる 6 これからの家庭生活と社会		<ul style="list-style-type: none"> 家庭基礎の学習目標と学び方について確認する。（NIEの課題について、学校家庭クラブ活動について含む） 生涯発達について、発達段階と発達課題について学ぶ。 持続可能な社会を担う社会の一員として「SDGs」の課題について知る。 	
	期末 考査 まで	第6章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 これからの衣生活 5 布を用いた生活の知恵 <被服実習> ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動		<ul style="list-style-type: none"> 被服の役割を考え、私たちが健康で快適に装うために、どのような衣生活を組み立てていけばよいかを学ぶ。 日本で受け継がれてきた独自の衣生活文化の知恵と工夫を現代に生かす方法を実習を通して学ぶ。 家庭基礎の学習で学んだことを生活に生かす問題解決型の学習「ホームプロジェクト」に取り組む。 	
2	中間 考査 まで	ホームプロジェクトの実践と発表 第2章 子どもと共に育つ 1 子どもの育つ力を知る 2 親として共に育つ 3 これからの保育環境 第5章 食生活をつくる 1 現代の食生活の課題 2 食事と栄養・食品 3 生涯の健康を見通した食事計画		<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中に取り組んだホームプロジェクトを発表し、互いの取り組みについて学ぶ。 子どもの育つ力を理解するとともに、親となったとき、あるいは地域や社会の一員として、子どもとどう関わり、育てていくかを考える。 生涯にわたって健康であるための基礎的な体づくりや食習慣づくりのために必要な知識と技術を学ぶ。 	
	期末 考査 まで	4 調理の基礎 <調理実習①～③> 5 これからの食生活 第3章 高齢社会を生きる 1 高齢期を理解する 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの高齢社会		<ul style="list-style-type: none"> 食事を整えるための調理の基礎を実習を通して学ぶ。 持続可能な食生活について考える。 これからの高齢社会を生きる者として、高齢者も私たちも、誰もが共に充実した毎日を送ることができる社会の在り方を考える。 	
3	学年 考査 まで	第7章 住生活をつくる 1 住生活について考える 2 住生活の計画と選択 第8章 経済生活を営む 1 計画的に使う 2 現代の消費社会 3 消費者の権利と責任 第9章 生活を設計する		<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活の拠点となる住まいの役割について考え、安全・快適かつ地域のまち並みや自然環境と調和した持続可能な住生活の創造のために必要な知識を学ぶ。 生活に必要なお金を管理し、適切な消費行動をする力を身につける。 1年間の学習を振り返りながら、生涯を見通した自分の生活設計を立てる。 	
評価 方法	①自己や家族を起点とした地域社会への関心 10点		②問題解決能力（科学的な物の見方・考え方を含む） 10点		③生活文化・技術 20点
	④生活リテラシー 60点		<ul style="list-style-type: none"> ・学習ノート ・実習課題への取組 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームプロジェクトの取り組みと発表 ・実習課題、実技テスト等
				<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（各学期期末考査実施） ・課題プリント 	